

町長の行政報告を お知らせします

八峰町6月議会定例会が18日から20日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。
町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。



新庁舎建設事業、一部前倒しで実施
資材の高騰で事業費増額
4月に建設予定地の造成のために県に申請していた「開発行為」は、5月22日付けで許

可されましたが、翌年度予定している外構工事を前倒しして実施することから、工事内容を変更し入札作業を進めています。

また、鋼材などの建設資材が昨年に比べて高くなり、新年度単価で積算したところ大幅な増加が発生しました。併せて、当初計画にはなかったものの電算化が進む事務を支援なく確保するため、防災拠点としての機能を維持するため自家発電装置を組み入れました。さらには、当初、来年度に計画していた地中熱ヒートポンプ工事が、国の補助事業として目処がたったことから、前倒しして今年度実施するなどにより、予算補正と庁舎本体工事の継続費の変更が必要になりましたのでご理解をお願いします。

東京八森会総会開催

同郷の交流を深める

第46回東京八森会総会は、6月15日、東京新宿ワシントンホテルにおいて、会員、来賓合わせて約130人が集まり、盛大に開催されました。町側からは町長と須藤副議長、担当課長の3名と、白神八峰商工会からは職員2名が参加し、情報交換や町特産品等の販売を行いました。

また、今年度も関東峰浜ふるさと会から米森会長ほか数



名が参加され、交流を深めていました。

東京八森会と関東峰浜ふるさと会の合併に向けた動きですが、去る5月9日、東京のアルカディア市ヶ谷において1回目の役員会が開催されています。

両ふるさと会からは、会長、副会長など合わせて10名が参加し、和やかな雰囲気の中、合併に前向きな発言が多く出され、最短で来年秋の新ふるさと会発足に向け、今後も定期的に役員会を開催することで意見が一致したとの報告を受けています。

ふるさと会との交流については、これまで年1回の総会への参加が主な事業となっていました。今後は定住促進

対策やふるさと納税制度などの施策においても連携を深めていきたいと考えています。

10月完成を目指して

菌床シイタケ栽培施設5棟建設
JA秋田やまもとが実施主体となつて、菌床シイタケ栽培施設5棟を建設する事業計画を秋田県に申請していましたが、5月7日付けで承認され、12日には補助金の内示を受け事業実施の条件が整ったところです。

JAでは今後のスケジュールについて、交付申請等の手続きを経て7月には入札を行い、10月中の完成を目指したいとしています。

現在、菌床シイタケの生産規模は、生産農家20戸、栽培施設53棟で年間生産量が857トン、販売額が7億8,900万円ですが、施設整備後の計画では、栽培施設58棟で年間生産量を1,059トン、販売額を9億7,500万円とする目標を設定しています。この事業の完成により複合経営の基盤が更に確実なものとなり、農家経営の向上につながることを多いに期待しています。

春の全町一斉清掃

下がるマナーに増えるゴミ
春の全町一斉清掃が4月20日に行われました。晴天に恵まれ、早朝からたくさんの方々が参加下さいました。八森地区においては側溝の泥上げや地域周辺の清掃を、峰浜地区においては地域の道路脇に捨てられている缶・ビン・ペットボトル等を拾い集め、指定場所に運搬していただいています。



集められたごみは、燃えるごみが約1,750kg、燃えないごみが約3,190kgで、昨

年と比べると燃えるごみが約920kg、燃えないごみが約490kg増となっています。毎年実施しております一斉清掃では、缶・ビン等多く拾い集められておりますが、その多くは走行中の車から捨てられたものと思われ、運転者及び同乗者のマナー向上が強く求められるところであります。

このため、町としては乳児に対する助成措置が無くなることから今年4月2日以降生まれについても町の単独事業として月額5千円を支給することにしました。

ふるさと納税の募集開始

多方面でPRを

地方税法等の一部を改正する法律が本年4月30日に公布され、いわゆる「ふるさと納税制度」がスタートしました。ふるさと納税制度は、生まれ故郷や応援したい地方自治体に対して直接納税することではなく、寄附をすることにより、その一部が個人住民税、所得税から控除される制度です。

全国的には、改正法公布前からホームページなどでPRをしている地方自治体もありましたが、本町の場合は、改正法公布後の5月22日に町ホームページでふるさと納税制度の概要や寄附金申込みについてPRを開始し、今後、本格的なPR活動を行いたいと考えております。

ブランド商品確立に向けて

塩の試作が進む

農林水産物処理加工施設
4月から製塩の試作作業を開始し、麴、白神塩もろみと順次試作を行っています。

また、5月からは、県総合食品研究所、指定管理者の八峰白神自然食品株式会社及び町の共同研究で「白神微生物を活用した新規食品保存用資材の開発」に関して共同研究を進めており、事業スケジュール

ルでは、7月に塩、ニガリ及びかん水の販売と白神塩もろみを用いた農林水産物の加工試作を行う計画で進められています。当該事業が順調に推移しますと、当町のブランドの確立と地域の農林水産物の付加価値化が図られ地域産業が大きく飛躍できるものと期待しています。

6月議会定例会に 提出した主な議案

- ふるさと八峰応援基金条例制定について
- 八峰町観光振興基金条例制定について
- 八峰町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 一般会計補正予算1億1,147万4千円を追加するもの

主な歳出

- 省エネビジョン策定、地中熱ヒートポンプの前倒し施工、放射線治療装置等導入補助金など